

第1号議案

平成28年度事業報告
(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

平成28年度上期における函館市の観光入込客数は、昨年末に念願でありました北海道新幹線が開業したことに伴い、JR各社を中心とした宣伝や「青森県・函館デスティネーションキャンペーン」等の効果などもあり、関東・東北を中心に多くの方々が来函されたことから、前年同期を大きく上回る約45万4千人増の約366万5千となっており新幹線効果によるものと考えております。

また、新幹線開業から1年間の北海道新幹線の利用者数は在来線時と比較し対前年の164%と報告されております。

一方で、函館空港の乗降客数は、羽田線において減少傾向が見られるものの2月から、成田―函館間に函館発の国内線LCCが就航したことから、平成28年度の函館市における観光入込客数は過去最高を記録するものと考えております。

このような中、平成28年度においては、函館観光における千載一遇の機会を逃すことなく誘客とホスピタリティの拡充に向けた各種事業を進めて来たところでございます。

国内プロモーションにおいては、従前より進めている青森、八戸、弘前の各観光コンベンション協会との共催により新たなマーケットとして大阪での旅行代理店向けプロモーションを実施したほか、みなみ北海道観光推進協議会との共催により仙台において更なる誘客を図るべくプロモーションを実施しました。

インバウンド対策としては、上海、北京、台北、バンコクへのトッププロモーションを実施したほか、一般消費者向けでは、台北国際旅行博やタイ国際旅行フェアに参加し、函館の情報を提供してきたほか、函館地域としては初のオーストラリアでのプロモーションを市内観光関連業者の方々と実施し情報発信を行ったところでございます。

また、コンベンションの誘客・受け入れ態勢につきましては、当協会が中心となり、南北海道・東北の郷土芸能を一堂に集めステージイベントとして展開する「第128回杜の賑い北海道・函館」を開催し、全国からおおよそ5,000名のお客様をお迎えいたしました。

さらに、受け入れ態勢の強化策としては、ワンランク上のおもてなし研修会として、「ザ・リッツ・カールトン」の事例に学ぶ研修会を開催し、おもてなしの意識向上に努めてきたところでございます。

一方、観光イベントにつきましては、函館港まつりに東京ディズニーリゾートによるパレードを実施したほか、はこだてクリスマスファンタジー、はこだてイルミネーションの継続実施を行い誘客促進と情報発信に努めてきたところでございます。

当協会が管理している旧イギリス領事館の利用促進に向けては、親子参加型イベントや市民向けイベントを実施してまいりました。

今後も、北海道新幹線の開業効果の継続に向け、会員企業の皆様と共に更なる誘客促進とホスピタリティの拡充、着地型観光の推進に努めてまいりたいと考えておりますので、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。